



であなたの手元に届くwebマガジン

おばこ稲作情報



2025年7月
No. 7 0

JA秋田おばこ



一ヶ月予報

7/12~8/11

気温

高い 見込み



降水量

ほぼ平年並み見込み



日照時間

ほぼ平年並み見込み



暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高い状態が続く見込みです。東北日本海側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

葉色極端に低下

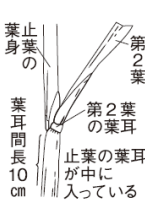
夏を乗り切る体力付けろ！

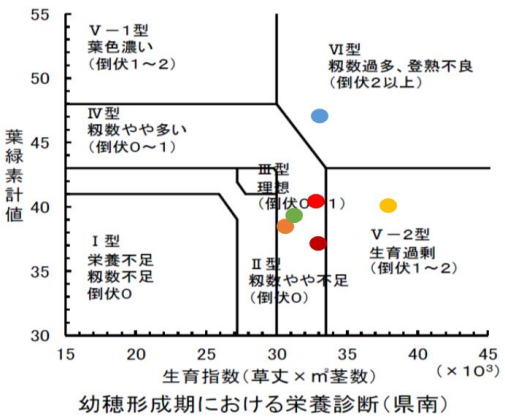


7月ー5日に実施したJA生育調査では、草丈は目標値62cmに対して1/2割長い、茎数は目標値463本/m²と同等、葉色（SPAD値）は目標値42に対してやや淡い、葉数は目標値10.9葉に対して同等とやや早いでした。

7月ー1日ー3日かけて吹いたフェーンの東風によって、葉色が極端に低下しました。長稈で暴れ気味だった生育が一旦落ち着いたように見えます。今後とも高温が予報されているため、淡い葉色ではスタミナ切れで夏を乗り切れず、白未熟粒や胴割粒の増加が心配です。生育に合わせて、穂肥を実施してください。ただし、下記の留意点を必ずご確認ください。

【穂肥例】

肥料名	穂肥555	穂肥V545
施肥量 (kg/10a)	7~13kg (チツソ換算 :1.05 ~1.95kg)	
施肥時期	出穂前 15日	
備考	硫安系 15-5-15	塩安系 15-4-15



中央
西部
東部
仙北市
美郷町
おばこ平均

！穂肥の留意点

- 草丈は長めであり、まだ下位節間の伸長期であるため、この時期を避けます。
- 7/15時点の草丈が75cm以下であれば、下記条件付きで追肥を実施します。
- 5/20以前の田植えほ場では、7/20過ぎに実施。5/21以降の田植えほ場では7/23過ぎに実施します。
- 穂肥量は、チツソ換算で1kg/10a程度としますが、稲姿によって加減します。
- 穂肥は、葉色を上げるのではなく、これ以上葉色を落とさないことを目的として実施します。
- 8月の天気予報次第では、走り穂が出た時期に追肥の検討が必要になります。

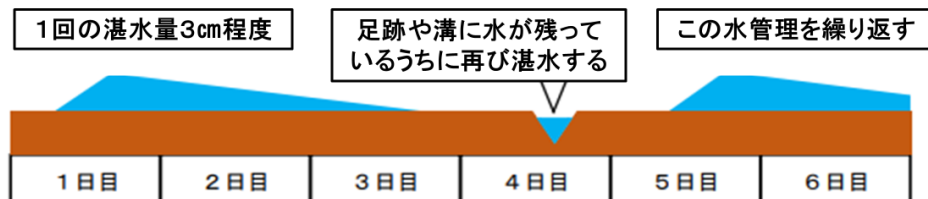
こまち 7/15	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉色(SPAD)		葉数(葉)	
	計測値	目標値比 (62cm)	計測値	目標値比 (463本)	計測値	目標値比 (42)	計測値	目標値比 (10.9葉)
大仙市 中央	69.0	120.4%	441.0	95.2%	38.2	91.0%	11.3	103.7%
大仙市 西部	71.2	121.9%	462.4	99.9%	46.9	111.7%	11.9	109.2%
大仙市 東部	72.8	134.0%	523.6	113.1%	40.6	96.7%	11.4	104.6%
仙北市	78.0	138.2%	398.1	86.0%	39.6	94.3%	11.0	100.5%
美郷町	71.9	116.0%	463.3	100.1%	37.3	88.8%	11.2	102.8%
おばこ 平均	72.6	117.1%	457.7	98.9%	40.5	96.5%	11.4	104.1%

少雨干ばつの恐れ 飽水管理でしのぐ

飽水管理の方法

- ①水尻を止め、漏水が無いか確認。
- ②田面に水が染みる程度に入水。
- ③水尻止めたまま、自然減水
- ④田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水がたまっている箇所が散見されるようになったら、入水する(②から繰り返す)。

例：ほ場の水持ちが2～3日程度の飽水管理



注：日数は目安です。地域の水利実情に合った水管理を実施する。
注：掛け流し等を行わず、限りある用水を地域全体に行き渡るようにする。

今年は空梅雨で少雨となっています。今後、高温が予報されているため、限られた水資源を地域全体で利用していかなければなりません。

以前からお伝えしているとおり、飽水管理は節水対策になるほか、気化熱によって地温上昇を軽減でき、根の活力減退を防ぐことができます。改めて、飽水管理への理解を深めていただき、実践をお願いします。飽水管理でなくても、溝切り跡への走り水だけでも効果はあります。ほ場、地域に合った方法をお願いします。

高温が続く中で湛水管理（溜め水）にすると水の保温効果で夜間も温度が下がらず、根の活力低下になりやすいです。こんな時にも飽水管理では、地温の日較差が大きくなりやすく、稲体の消耗を防ぐことができます。

熱中症対策を

農林水産省ホームページより

暑さを避ける

こまめな休憩と水分補給

熱中症対策
アイテムの活用

単独作業は避ける



農林水産省

7月8日時点の出穂期予想から、出穂期後積算気温による刈り取り適期予想を試みました。あくまで参考程度で、7月に入ってから半年プラス3度程度で推移しており、出穂は早まると思います。出穂後も高温で経過した場合、刈り取り適期もかなり早まる可能性があります。刈り取り準備は早めに！

刈り取り適期予想

(大曲アメダス、平均気温プラス2℃でシミュレーション)

田植え日	5/15	5/20	5/25	5/30
予想出穂期	7/28	8/1	8/4	8/7
900℃到達日	9/1	9/5	9/8	9/12
1,000℃到達日	9/5	9/9	9/13	9/16

※高温予想のため、さらに早まる可能性もあります。
※高温時、あきたこまちRは出穂期後積算気温900℃で刈り始めます。

大胆予想 令和7年産米 刈り取り適期予想